

鉱産資源開発の歴史地理学的研究

研究者プロフィール

地域総合学部地域コミュニティ学科 准教授 品田光春

専門分野 人文地理学（鉱業地理学、歴史地理学）

研究分野 油田開発の歴史地理、産業遺産、古地図など

所属学会 経済地理学会、鉱山研究会、産業遺産学会、人文地理学会、地理科学学会、地理教育研究会、東北地理学会、日本大学地理学会、日本地域経済学会、日本地図学会、日本地理学会、日本地理教育学会、歴史地理学会

研究内容

近代日本の石油業を対象に、鉱産資源開発の実態や開発が地域の社会・経済や地域間関係の構築に与えた諸影響について研究しています。過去の資源開発が地域にどんな影響を与えたのかということを経験的な角度から具体的に検証し評価することは、今後の資源開発と地域社会の関係を考える上でも大きなヒントを与えてくれることでしょう。また現代では、かつての油田や炭鉱などの鉱山跡地が産業遺産として評価され、地域の重要な観光資源としても注目されています。歴史地理学的研究の成果もふまえて、これら産業遺産の保全・活用のあり方に関する研究にも取り組んでいます。



関連キーワード

鉱業 歴史地理 産業遺産

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

地図や写真など各種地理資料を用いて、歴史的な景観の復原およびそれを巡るまち歩きコースの立案を支援します。



研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail : srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 : 022-354-8122